

～緩和ケア認定看護師の紹介～

はじめまして。私は緩和ケア認定看護師の佐々木良子と申します。

現在、日本では2人に1人ががんになると言われており、がん対策基本法では、がん患者の療養生活の質の向上があげられています。

みなさんは緩和ケアのイメージはどのようなものでしょうか？

「緩和ケア」について聞いたところ、「終末期の患者だけを対象とすると思っていた」を挙げた人が最も高く、以下、「よく知らないが、聞いたことはある」「病院、緩和ケア病棟などの限られた場所でしか行われないうと思っていた」「痛みなどの身体症状のみを対象とすると思っていた」の順となっています。

緩和ケアは、末期医療やターミナルケアだけでなく、がん診断初期から積極的治療と並行して行われるものです。分かりやすく説明すると、緩和ケアとは命を脅かす病気（がんなど）の患者さんと家族の方が対象であり、病気が分かった時に受けられるケア、治療をしながらも受けられるケア、患者さんが自分らしく生き抜くために行うケア、患者さんとその家族を支えるケアであります。緩和ケア認定看護師の専門分野としては、がん治療（化学療法や手術など）のサポート、身体症状（痛み・嘔気、嘔吐・便秘・呼吸困難・浮腫・倦怠感）や精神症状（不安・うつなど）の症状緩和、また社会的・スピリチュアルな問題への対応、そしてご家族へのケアと退院・在宅支援などです。

現在、私は東4病棟に所属しながら、毎週月曜日を活動日とし、所属部署はもちろん、所属以外の病棟や外来など院内を横断的に活動しています。同時に多職種のスタッフにより結成された緩和ケアチームでカンファレンスを行い、患者さん、ご家族が抱えているさまざまな苦痛の緩和に努めています。

私は、患者さん・ご家族の苦痛や苦悩に対して共に寄り添い、その人らしさを支えていける認定看護師でありたいと思っています。痛みなどの“体のつらい症状”不安や落ち込みなどの“心のつらさ”を和らげながら、日常生活のお手伝いをさせていただきます。緩和ケアチームメンバーや病棟スタッフと連携してケアを実践していきますので、患者さん・ご家族の方が不安な気持ちになった時、誰かに話を聞いて欲しいと思った時などお気軽に声をかけて下さい。

文献 緩和ケア認定看護師 佐々木 良子



佐々木認定看護師



患者さんとの対話風景



毎週開催される緩和ケア委員会

ふれあい



平成25年3月竣工予定の新西館

院長 坂本 不出夫



残暑厳しい日々が続いていますが、皆様には、お変わりなくお過ごしのことと思います。当医療センターでは、現在西館の新築工事を進めています。狭い敷地内での建て替えの為、皆様には大変ご迷惑をおかけしていますことを申し訳なく思っております。

来年3月には竣工予定であり、新年度早期には新館での正常診療ができるように準備計画を進めています。今後も、スタッフ充実に努め24時間救急医療体制を維持し、この地域の急性期基幹病院として、皆様に信頼される病院となるよう努力してまいります。

また、医療センターでは定期的に「市民懇話会」を開催しています。水俣を中心とした地域医療を、皆さんと共に考えていく会です。医療センターの状況を少しでも理解していただき、協力・応援していただければと思っています。多くの皆さんに参加していただくことを期待しています。

国保水俣市立総合医療センター

〒867-0041
熊本市水俣市天神町1丁目2番1号
TEL 0966-63-2101
URL <http://minamata-hp.jp/>
診療受付時間 午前 8時～午後3時まで
面会時間 平日 午前11時～午後1時
午後 3時～午後8時
休日 午前11時～午後8時
休診日 土・日・祝日・年末年始

交通のご案内

みなくるバス
停留所が病院の玄関前と浜グラウンド側にありますのでご利用下さい。
九州新幹線
新水俣駅から車で5分です。
肥薩おれんじ鉄道
水俣駅から徒歩15分



【院是】

仁愛

【病院理念】

- ・患者中心の医療
- ・安全で高度な医療
- ・地域との連携
- ・環境保全
- ・健全経営



入院中の患者様へお見舞いメールを書くことができます。詳しくは、国保水俣市立総合医療センターのホームページをご覧ください。
<http://minamata-hp.jp/>

【ビジョン】 地域の中核病院として、急性期医療を中心に高度で安全な医療を提供するとともに経営的にも自立した患者に選ばれる病院を目指す

新刊 一初!

認定看護師誕生～皮膚・排泄ケア認定看護師の紹介～

皮膚・排泄ケア認定看護師は、創傷・ストーマ・失禁の3つの領域に関わる看護を専門とします。創傷ケアは主に褥瘡（床ずれ）などがあります。ストーマとは尿または便の出口となる人工肛門の事を意味し、ストーマケアの1つにストーマ周辺の皮膚かぶれがあります。

ストーマは新しく尿や便の出口を腹部に作ることで、自分の意思とは関係なく尿や便が出てきます。そのままではストーマの周囲の皮膚はかぶれてしまうので、腹部に尿や便を貯める袋を装着します。

失禁ケアは尿や便が漏れたり、逆ににくい等の排泄障害に対して看護します。失禁の原因は、加齢のみではなく、先天性疾患・手術の後遺症・神経損傷・感染・出産など様々です。尿や便が漏れる場合はオムツ使用が多くなり、尿や便が皮膚に長く触れることで、皮膚がふやけてかぶれたり、褥瘡の要因にもなります。その為、この3つの領域で共通する皮膚障害、スキンケアが皮膚・排泄ケア認定看護師の主な役割となります。

スキンケアは皮膚障害を起こした後の治療的スキンケアよりも起こさないようにする予防的スキンケアが重要視されています。そこで、褥瘡予防に有効な体圧分散マットレスの整備やオムツの導入、スキンケア用品を売店に置いてもらったり、院内に採用してもらうような活動なども行っています。看護師の質の向上の為に学習会を開き、教育指導も行っています。

ストーマ患者様が退院し社会復帰した後のフォローとしてストーマ外来がありますが、当院ではまだ開設していません。しかし、毎週月曜日は私の活動日（病棟から離れフリーで動ける日）であり、ストーマや皮膚障害についての悩みや相談に応じています。ストーマ周辺の皮膚かぶれの原因は、ストーマ装具の素材の不適合、排便の状況、皮膚の状況など、いつもの原因が考えられますので、各人の症状、体質に合わせたケアのアドバイスが行えるようにしています。

昨年度はストーマが30名、褥瘡や胃瘻（胃に穴を開けて直接栄養を入れる方法）、オムツかぶれ、術後の瘻孔（穴が閉じずに便や液が出てくる）などに伴う皮膚障害が8名、ケアや指導を行いました。1～2回のケアで終了する方もいれば、毎週来られている方もいます。現在は、病棟勤務で3交代をしていますので活動には制限がありますが、相談を受けた時、各病棟や外来に出向き対応しています。病気は医師に相談できても、ストーマの悩みは1人で抱えているケースも少なくありません。



北本認定看護師



【ストーマ処置中の北本看護師】



【当院新人看護師だけでなく近隣医療機関の新人看護師にも研修会を実施】

そのようなストーマを造った方の為に相談の窓口になっていきたいと考えています。今後の活動としては、皮膚・排泄ケア認定看護師の存在を地域住民の方にも知っていただき、ケアを必要とするすべての患者さんにケアが提供できるよう、外来・病棟、そして地域の医療機関と連携し活動していきたいと思っております。

文献 皮膚・排泄ケア認定看護師 北本 香

～集中ケア認定看護師の紹介～

認定看護師とは、日本看護協会が行う認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する事を認められた者をいいます。役割として、「実践」「指導」「相談」の3つを担います。実践は患者様やご家族に対して水準の高い看護ケアを提供し、看護職に対しては指導・相談を行います。認定看護師には各専門分野（現在は21分野）があります。私は「集中ケア」という分野です。2012年現在、全国に641名（登録者数）お



中ノ上認定看護師



【寝たきり患者様の体重測定】

り、熊本県内においては8名活動しております。県内の看護師を対象に研修会を行っています。

施設内においては、すべての疾患、病状において急性期から終末期まで幅広く関わるといった特徴を持ちます。術後や重症な生命の危機状態にある患者様の病態の変化を予測し重篤化を回避するための援助や、早期から回復を支援するための援助などを行います。看護師に対しては、コンサルテーション（相談）を行い自己解決できるよう方向性を一緒に考えたり、自らも実践指導を行います。医療はチームワークが大切ですが、治療を行う上で必要な各医療者との調整

役となり治療やケアが円滑に進むよう調整を行う場合もあります。

現在は、通常の業務を行いながら毎週水曜日を活動日として院内をラウンドします。主に人工呼吸器を装着している患者様や、術後の状態が不安定な患者様を中心に情報収集を行っています。



【病棟ミーティング中】



【高校生の看護師1日体験で説明する中ノ上看護師】

院内での主な活動はRST（呼吸サポートチーム）として、医師、理学療法士、臨床工学技士とともに人工呼吸器装着患者の安全点検や看護ケア、状態についてのカンファレンスを行い必要な介入を行います。

文献 集中ケア認定看護師 中ノ上 ともみ